



第 23-47 号

2024 年 2 月 29 日

## 【相模大野ステーションスクエア】 相模原市南区と連携した「相模大野カジュアルピアノ」を実施 春のシンボルとなる桜の木 & 花のアーチのフォトスポットも登場

桜の木の下で春を感じながら、ストリートピアノの演奏ができます



相模原市南区



相模大野駅ショッピングセンター

station SQUARE



株式会社小田急SCディベロップメント（本社：東京都新宿区 取締役社長：細谷 和一郎）が運営する商業施設「相模大野ステーションスクエア」では、相模原市南区と連携し、2024年3月15日（金）～3月21日（木）の期間中、3Fアトリウム広場（南北自由通路）において、相模大野駅のシンボル、桜の木の下に電子ピアノを設置する「相模大野カジュアルピアノ」を実施します。演奏をご希望される方は、どなたでも自由に弾いていただくことが可能です。

また、今年は花のアーチの前で写真が撮れるフォトスポットも設置いたします。ひと足早い桜の木の前で思い出の一枚を撮影してみたいはいかがでしょうか。

桜装飾期間：2月29日（木）～4月14日（日）

電子ピアノ設置期間：3月15日（金）～3月21日（木）

## 背景

相模大野ステーションスクエアは、まちの活性化に寄与するため、地域との連携を強化しています。2020年から相模原市南区と連携し「地域の文化芸術活動の促進、まちのにぎわいづくり」を目的に「相模大野ステーションピアノ」事業を実施してきました。昨年、より気軽に音楽を楽しみ、どなたでも自由に弾いていただくことができるようにと「相模大野カジュアルピアノ」を実施したところ、多くの皆さまにご好評をいただき、今年も開催することとなりました。



2023年開催時の様子

## 概要

### (1) 相模大野カジュアルピアノ

#### ■ 設置場所

相模大野ステーションスクエア 3F アトリウム広場（南北自由通路）

#### ■ 設置期間

桜装飾：2024年2月29日（木）～4月14日（日）

電子ピアノ：2024年3月15日（金）～3月21日（木）

#### ■ ピアノ利用可能時間 12：00～19：00

#### ■ 共催 相模原市南区

#### ■ 協力 （公財）相模原市民文化財団

#### <注意事項>

※展示物を触ったり、損壊する行為はご遠慮ください。

※次の演奏者は待機列に並び、順番に演奏してください。（整理券配付はありません）

※連弾や他の楽器との合奏・合唱も可能です。他の楽器の演奏者等は2名までとします。ただし、ピアノを演奏せず他の楽器のみで演奏することや、アンプを使用した楽器・マイク等を使用することはできません。

#### <お問い合わせ>

相模原市南区役所地域振興課 042-749-2135（直通）

E-mail：m-chiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp

## (2) フォトスポット

今年は、桜の木と共に華やかな花を集めたガーデンアーチに芝ベンチを設置し、思わず春をシェアしたくなるようなフォトスポットをご用意しました。卒業や入学、入社など節目の写真を桜の木と見返した時に地域の方々と思い出を共有したいという想いも込められております。



### 参考

#### 【参考 1】株式会社小田急 S C ディベロップメントについて

小田急グループにおける商業施設の運営・開発事業を一貫して担う会社として、2020年4月1日に設立されました。

URL : <https://www.odakyu-scd.co.jp/>



#### 【参考 2】相模大野ステーションスクエアについて

小田急線相模大野駅直結の地上14階建ての複合商業施設です。「小田急ホテルセンチュリー相模大野」や「Odakyu OX」のほか、ファッションやカフェ&レストランなど、約130の専門店で構成されています。

所在地：神奈川県相模原市南区相模大野3-8-1

開業年：1996年

アクセス：小田急線相模大野駅直結

URL : <https://www.odakyu-sc.com/so-ss/>

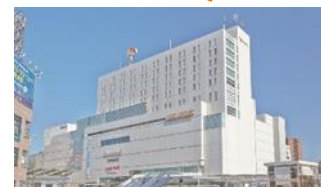
営業時間：ステーションスクエア専門店 10:00～21:00

レストラン 11:00～22:00

Odakyu OX 10:00～23:00

※最新の営業時間は施設ホームページをご確認ください。

相模大野駅ショッピングセンター  
station SQUARE



#### 【参考 3】株式会社小田急 S C ディベロップメントの「地域共生ステートメント」について

当社では、より地域社会の発展に貢献していくことを目的に、2022年12月に地域共生ステートメント「エキチカは、マチチカ、ヒトチカへ。」を新たに制定いたしました。今後も、当社では小田急の商業施設がお客さまと地域をつなげる「接点」となることを目指し、様々な取り組みを展開してまいります。

